

① 基本事項	計画コード		22030		事業名		し尿処理施設大規模整備事業											
	事業手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☒ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()															
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上					予算科目目	会計	01:一般会計								
		基本施策	08:脱炭素社会の実現に向けた取り組みの推進と循環型社会の構築						款	04:衛生費								
		施策の方向	04:廃棄物処理施設の適正管理						項	02:清掃費								
		重点プロジェクト	-						目	03:し尿処理費								
事業期間		R 1 年度 ～ R 11 年度		主な根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律												
												評価分類		A1				
												担当部署						
												部		産業環境部				
												課		環境課 廃棄物対策G				
② 事業概要（P）	事業の必要性(経緯・背景等)				事業の対象(誰に、何に対して)				事業の目的(どのような状態にしたいのか)				事業の内容(どのような取組を行うのか)					
	し尿処理施設は昭和62年の稼働から長期間が経過し、主要な設備が耐用年数を迎えるなど老朽化が進行しており、施設の延命化を図っていく必要がある。				し尿処理施設				し尿処理施設の延命化を図る。				衛生公苑長寿命化計画に基づき、主要な設備・機器の更新や改良工事を行う。また、さらなる延命化を進めるため、長寿命化計画の見直しを行う。					
③ 事業の実施状況（P・D）	年度		令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度			
	事業計画		○大規模整備工事				○大規模整備工事 ○長寿命化計画の改訂				○大規模整備工事				○大規模整備工事			
	活動実績 (計画通り実施できたか)		衛生公苑長寿命化計画に基づき、主要設備や機器のの整備工事を実施した。 ○受入貯留槽設備、一次二次処理設備ほかの整備工事				衛生公苑長寿命化計画に基づき、主要設備や機器の整備工事を実施した。 ○受入貯留設備、一次二次処理設備、高度処理設備、汚泥処理設備ほかの整備工事 衛生公苑長寿命化計画(改訂)業務委託											
	計画額	事業費	24,800千円		23,408千円		36,300千円		30,250千円		36,300千円				45,100千円			
			国・県支出金		0千円		0千円		0千円									
			地方債		18,600千円		17,500千円		18,300千円		27,100千円		33,800千円					
			その他		0千円		0千円		0千円									
			一般財源		6,200千円		5,908千円		11,900千円		11,950千円		9,200千円		11,300千円			
	決算額	事業費	23,408千円		30,250千円													
			国・県支出金		0千円		0千円		0千円									
			地方債		17,500千円		18,300千円		18,300千円									
			その他		0千円		0千円		0千円									
			一般財源		5,908千円		11,950千円											
	①期間内計画額(R4-7)		142,500千円				②期間外計画額(R8-)		111,330千円		①+②総計画額		253,830千円					

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	30,250千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	大規模整備工事の進捗率	実施済み事業費/総事業費	活動	%	計画値	31	42	53	66
					実績値	29	38		
					計画値				
					実績値				
					計画値				
					実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	B	受入貯留設備などの主要設備を整備したことで、施設の適正管理と安全安心で効率的なし尿、浄化槽汚泥の処理が可能となった。また、衛生公苑長寿命化計画(改訂)業務委託では、更なる延命化を検討するための情報や資料を得ることができた。
まずまず成果を得た		

事業の対象	事業の目的
し尿処理施設	し尿処理施設の延命化を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	設備、機器の実際の劣化状況、衛生公苑長寿命化計画を上回る状況にあるものの整備や、災害廃棄物処理体制の強化に向けた施設の強靱化など業務委託の成果内容を精査し、次期し尿処理施設の建設時期を見据え、更なる延命化について検討する必要がある。	

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの	令和7年度以降で対応するもの
	業務委託の成果内容を精査し。今後の整備工事について検討を行う。	大規模整備工事の実施
大規模整備工事 受入貯留設備、一次二次処理設備など		

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	B		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

1次評価者	産業環境部 環境課 廃棄物対策GL 葛西 裕二
最終評価者	産業環境部参事(兼)環境課長 村田 博